

第 25 回参議院選挙

全力で戦い抜こう！

本日、第 25 回参議院議員選挙の火蓋が切って落とされ、17 日間の、新しい大分の未来を拓く、高齢者、子ども、若者、そしてすべての働く者の未来を拓く、闘いが始まりました。



▲ 別府駅前 出陣式

今回の参議院議員選挙は、非常に重要な意味を持っています。

1 つ目は、一人ひとりの国民が毎日毎日一生懸命に働き、生み出している税金をまるで自分のポケットマネーのように「自分たちの都合のいい」ように使うやり方、自分たちの方が多数派だから、「何をしても許される」という「傲慢な政治」をこのまま許していいのか、ということです。許してはなりません。

2 つ目は、私たちのおじいちゃんやおばあちゃんは、あるいはお父さんやお母さんは、一生懸命に働き、子どもを育て、社会に貢献してきました。

しかし、こんなにも「自分たちさえよければいい」「不都合なことは隠してしまえ。書き換えてしまえ。」という、生きづらい、信用できない、時代と社会を迎えるためだったのでしょうか。

ちがいます。日本の将来を担う子どもや若者に、一人ひとりの個性が尊重され、自分らしさが発揮でき、希望の持てる素敵な時代や社会を残していくために、もう一度「支え合い・助け合い・お互い様」と思い合える社会に舵を切り替えなければなりません。

最後に3つ目は、政策です。今の政府による、日本国民に対する「政策という『光』」の当て方に問題はないのでしょうか。「大いに問題あり」です。

政権の言うことに従順になり、すり寄っていく仲の良い人には、眩しいくらいの「光」が当てられますが、異を唱えたり、反論をする人たちへの「光」は、激減します。

「不条理」や「不合理」が、道のど真ん中を歩いています。

だから、私たちは、推薦候補者とともに、立ち上がらなければなりません。

私たちの推薦する候補は、日本社会に貢献してくれた高齢者の皆さんやこれからの日本を支える子どもや若者への支援を考える人です。

また、「好き」「嫌い」で人を判断するような「薄っぺらい」人間ではありません。誰とでも真正面から向き合い、話を聞ける、「心の厚い」人です。



▲ 政策を訴える「あだち候補」

こんな政治家が、今からは必要です。推薦候補者を私たちの力で国会に送り、大分県の未来を、日本未来をみんなでいっしょに考えていこうではありませんか。

私たちも最後の最後まで、足を止めず、協力者を一人ひとり、拡大していき、連合大分5万人の組織の総力を挙げ、勝利に向けて全力で闘いぬきましょう。



▲ 大分駅 壮行会 勝利に向けて「勝つぞコール！」